



# 片山かおるの ちょっとカエル通信

42号



おとなも子どももいっしょに育つ町にしよう

小金井市議会議員

発行日：2013年6月4日

発行・連絡先：小金井市議会「市民自治こがねい」

小金井市本町6-6-3 tel:042-383-1111

## 5校の小学校給食が9月から民間委託?? 子宮頸がんワクチン副反応被害を防ごう



### 補正予算(6/18予算特別委員会)

1億7500万円の補正。8月からの生活保護基準改正のためシステム修正420万、成人風しん予防ワクチンに1,252万、ごみ減量カルタやキャラクター着ぐるみなど、ごみ減量啓発に320万、一小と緑中対象に民生委員や警察OBがいじめ・不登校対策で学校と連携する学校支援員の経費も。浴恩館の空林荘が火災で消失しましたが、文化財センターをフェンスで囲う予算486万円がこれまで保存に関わっていた市民に相談なく出ています。

小学校5校の給食調理の民間委託経費7795万。9月からの委託ということで、急遽、各小学校で説明会が開かれました。4月に組合が合意したからです。委託の方針を持っていた教育委員会としても急な展開に焦りが見えます。これまで給食調理の職員を雇用しない方針で来たため、調理員は正規職員の補充がなく疲弊しきっていました。そんな兵糧攻めの状態で、経費節減のための民間委託を強行しようとしています。子どものためによりよい給食を提供するためではなく、財政が厳しいから民間に丸投げというのは、市の責任を放棄したも同然です。説明会でも保護者からの厳しい意見と批判が相次ぎ、不信が募りました。

どのような運営をするにせよ、大きく変化するのであれば、丁寧な説明と保護者や子どもと一体になった議論が必要です。陳情もたくさん出てくることとされます。

片山かおるの一般質問 6/11 10:00予定

### 1. 選挙の当選証書への通称記載について

- 1) 他自治体事例、総務省の見解
- 2) 今回の選挙での小金井市選挙管理委員会の対応 他  
私は議員になる前から別姓で仕事をしてきましたが、4年前は戸籍名で当選証書が出たので非常に悔しい思いをしていました。今回の当選証書で初めて「片山かおる」と付記されました。別姓で働く女性の権利を足下から獲得していきたいと思えます。

### 2. 子宮頸がんワクチンの副反応被害について

- 1) 杉並区等での副反応被害者の状況、全国的な対応等をどのように把握しているか。小金井での状況は 他
- 2) 市からの勧奨について。説明会の設定は
- 3) 今後の対応は。全国的な副反応実態調査と検証が行われるまで接種を一時中止すべきでは  
新聞等で大きく報道されているように、ワクチン被害者連絡会が立ち上がり、各自治体の議員と被害者の親がワクチン被害について検証と補償を求めています。今は一度立ち止まって、これ以上の被害者を出さないように自治体として判断すべきです。

### 3. 小金井市は子どもたちに寄り添った給食の提供が続けられるのか

- 1) 給食の指針をふまえ、これからどんな給食をめざしていくのか。教育委員会や市長の考えは。 他
- 2) 調理業務委託の説明会が開かれたが、子どもたちにとってよりよい給食にするための委託になるのか。 他  
経費節減の行政の都合に沿った「行革」ではなく、子どもと親に寄り添っただれもが納得できる本来の「行革」を進めるべきです。給食には多くの可能性があります。もっと親が関わることができて、子どもたちが楽しみにできる給食をめざしてほしいものです。

## 各種意見書を作成中



市議会からは国などに意見書や決議を出すことができます。市民の陳情と、議員提案によるものがあります。小金井市議会で通った意見書をもとに提案する他議会もあり、民意を表明する重要な手段となります。

私がこれまでの4年間に作成した8つの意見書が採択され国等に送付されました。今議会でもいくつかの意見書作成を検討しています。他会派と調整してまとめる可能性あり。国連の社会権規約委員会からの勧告が出た、ヘイトスピーチ・慰安婦問題・朝鮮学校の無償化措置に関するもの／国連人権理事会グローバル報告者の勧告に基づく、福島原発子ども被災者支援法に関する意見書／寡婦控除をすべてのひとり親家庭まで拡大することを求める意見書／副反応事例が多発している子宮頸がんワクチン接種事業の精査・検証と副反応被害者に対する救済体制を整えることを求める意見書

## 全国子宮頸癌ワクチン被害者連絡会ができました



3月に各自治体の議員、被害者がつながる連絡会ができました。5/16に行われた、第1回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会を傍聴したところ、被害者の副反応症状について意見を述べたのは数人の審議員のみ。参考人の医師からは「(医学的に)わからない」という見解が目立ちました。医学的なデータをもっと調査する方向は出されましたが、一旦中止するという結論は出ず、傍聴していた多数の被害者の親と地方議員からは抗議の声が上がりました。予防接種は自治体事務です。これ以上被害者が出ないように、各自治体ごとの早急な取組みが必要です。一般質問で質疑します。

## 「従軍慰安婦」に対する差別発言に抗議。女性の社会参画を広げるためにクオータ制に注目

5/20にはクオータ制を推進する会主催の「実現できるか! 202030」院内集会があり、内閣府男女共同参画会議議員をつとめた鹿嶋敬講師からは、国レベルでは難しいが、自治体の公契約を整えることによって企業での男女平等を進めることができるといった提言もありました。5/25全国フェミニスト議員連盟総会&20周年記念セミナーでは各政党から、女性施策をどう進めるか、クオータ制についての見解を聞きました。5/22には「女性の人権を尊重する政治を! 橋下発言に抗議する緊急院内集会」が開かれ400人を超える参加者の怒りの声があがりました。根本にある女性差別を撤廃し、平和な社会を維持していくためにも、女性が社会の基幹を担っていける社会参画の方策を早急に整えなければなりません。慰安婦差別発言については意見書を作成中です。

## 多摩地域から再生可能エネルギーと循環型社会創出を

5/28には「東京に『市民』発電所を!〜エネルギー消費地

から生産地へ地域力が社会を変える!〜」と題して、保坂展人世田谷区長と阿部裕行多摩市長も参加するイベントがありました。多摩市では市民主導で行政と協働し、多摩循環型エネルギー協議会が立ち上がり、環境省の委託を受けながら第一号の太陽光発電施設ができました。小金井も含む多摩地域全体の再生可能エネルギーと循環型社会創出のプラットフォームになれる組織かもしれません。

## 福島原発事故の責任を追求すること。福島避難者子ども健康相談会

福島原発事故はいまだ収束しておらず、現地に住む人々や避難者の苦悩は日々大きくなるばかりです。5/31に開かれた原発事故の責任を追求する告訴団集会では、被ばくの不安を抱えながら福島に住み続けなければならない人々の苦しみの声や、避難したものの日々の生活や周囲の無理解に苦しむ発言がありました。一年前に成立した「子ども・被災者支援法」には、いまだ予算もつかず運用の見送りが続いています。7/21には第四回「福島避難者子ども健康相談会」が西東京と亀戸で開催されます。避難者と東京在住者がしっかりとつながり、原発事故の影響をこれ以上、子どもたちの心と身体に背負わせないように、あらゆる支援が必要だと考えます。国への意見書を作成しています。

## 議会日程 ※原則10:00より

- 6/3(月)本会議
- 6/4(火)本会議
- 6/6(木)一般質問
- 6/7(金)一般質問
- 6/10(月)一般質問
- 6/11(火)一般質問(片山の質問は10:00から)
- 6/12(水)厚生文教委員会
- 6/13(木)建設環境委員会
- 6/17(月)総務企画委員会
- 6/18(火)予算特別委員会
- 6/24(月)予備日
- 6/25(火)整理日
- 6/(水)本会議(最終日)予定



お問合せ：議会事務局：042-387-9947

### 片山かおるプロフィール

1966年生れ。2009年より市議会議員。現在2期目。厚生文教委員、議会運営委員、議会報編集委員、三多摩上下水及び道路建設促進協議会委員、小金井市土地開発公社評議員会評議員。市民グループ「市民自治こがねい」共同代表、片山かおるといっしょにかえる小金井の会、放射能問題に取り組む親たちと共に活動中。全国フェミニスト議員連盟共同代表、市民自治をめざす三多摩議員ネット、自治体議員政策情報センター、緑の党、福島原発震災情報センター、「なくそう子ども貧困」全国ネットワークなどにも参加。

◇片山かおる 連絡先◇

小金井市中町3-10-10-103 TEL&FAX:042-316-1511  
<http://katayamakaoru.net/> office@katayamakaoru.net  
 ツイッター：<http://twitter.com/#!/katayamakaoru>

●ご意見、ご感想をお寄せください。 ●古紙 100%再生紙使用